

令和6年度 定例県議会 知事提案事項説明要旨 [抜粋]

令和6年6月定例県議会

次に、九州新幹線西九州ルートについて申し上げます。

5月13日、長崎県の大石知事、JR九州の古宮社長と三者で意見交換を行いました。

新鳥栖-武雄温泉間は、これまで在来線を利用することで合意がなされたという認識は一致しています。そして新たな合意を作っていくことが難しい課題であるという認識も共有しました。また、まずは足元の西九州地域を盛り上げていくこと、そして三者での意見交換は意義があり今後も続けていくことについて一致しました。

整備新幹線は、地元自治体が手をあげて整備が進められるスキームです。西九州ルートは新鳥栖-武雄温泉間は在来線を利用するという合意のもと、佐賀県は長崎県と一緒に武雄温泉-長崎間の整備に手をあげました。長崎県が佐賀県内の区間について合意と異なるものを望むのであれば、原点に立ち戻り地元で新たな合意形成が図られるというのが、本来の議論の在り方です。

佐賀県から打開しなければならないものではありませんが、新しい提案があれば、様々な可能性について議論はしていきたいと考えています。